

第7号

2010/ 8

# NPO になった RACDA の初仕事 「バスマップの底力」出版

今年設立 15 周年を迎える RACDA は、7/15 に NPO 法人の認定を受け、「公共の交通ラクダ」と名前を変更した。「路面電車」という名前を取ったということは、非常に大きい意味がある。もともと商工会議所の「路面電車環状化推進・岡山都心 1km スクエア構想」の実現のための別働隊として発足した RACDA なのだが、そのためには日本の交通政策そのものの変更が必要だと、国に対して直接ロビー活動を行い、全国に仲間を増やしてきた。

道路中心の政策から、制度財源を含めて公共交通を重視し、地方では電車バスを上下分離して公設民営にするべきだとの主張は、全国の仲間と共にでなければ実現できないと考えた。その結果今や全国ネットワークは 60 団体を越え、その一つの成果として「バスマップの底力」が発刊された。表紙は RACDA のバスマップである。

岡山のように 6 社もバスを運行している会社があるのに、統一したバスマップがないということは、公共交通利用者にとっては、商品カタログがないのに等しい事態だ。またバス停にベンチや屋根がないのは利用者に「待つな」と言っているに等しい。しかしバス事業者も多く、行政も縦割りで、どこに苦情を言っているのやわからない。岡山の公共交通は、JR やバスルートもそこそこあるにもかかわらず、使いにくいのである。

我々が路面電車延伸や吉備線 LRT 化を推進するのは、交通インフラが充実している岡山の交通はもっと便利にできると思うからだ。だから JR、バス会社、道路行政を一括してコントロールする必要がある。RACDA が「路面電車」の名前をはずしたのは、「公共の交通」（道路、自転車、徒歩を含む）全体のコントロールをしていく団体(TMA)になろうということなのだ。アメリカでは TMA が 100 都市以上で存在している。RACDA は日本



「市民が始めた楽しい交通まちづくり」作ろう・使おう・育てよう！  
**バスマップの底力**  
全国バスマップサミット実行委員会 編著

- バスマップ作成  
ガイドライン
- 鈴木文彦
  - 岡 持男
  - 林 博
  - 田中隆一
  - 足立千佳子
  - 菅井直也
  - 藤室史明
  - 松本公洋
  - 志場久起
  - 検査三丁目
  - 伊藤浩之
  - 谷田貝 哲
  - 谷口綾子
  - 藤井 聡
  - 中村文彦

初の TMA を目指す。

「バスマップの底力」では、バスマップ作りのノウハウを公開している。全国に広まった市民によるバスマップ作りは、今や全国の行政にも影響している。RACDA の提唱する「バス停アダプト運動」についても 1 章書いたが、これも全国に広がっていきだろう。今年 11/27 に岡山で開催する「人と環境にやさしい交通を考える全国大会」に向けて、RACDA は走り出した。ご期待下さい。



岡山から芸術の島『犬島・豊島・直島・小豆島』へ



■7月19日から「瀬戸内国際芸術祭」が始まった。瀬戸内海に浮かぶ7つの島、犬島・豊島・直島・小豆島・女木島・男木島・大島が舞台である。今回は岡山からもアクセス可能な4つの島を取り上げる。

〔犬島〕

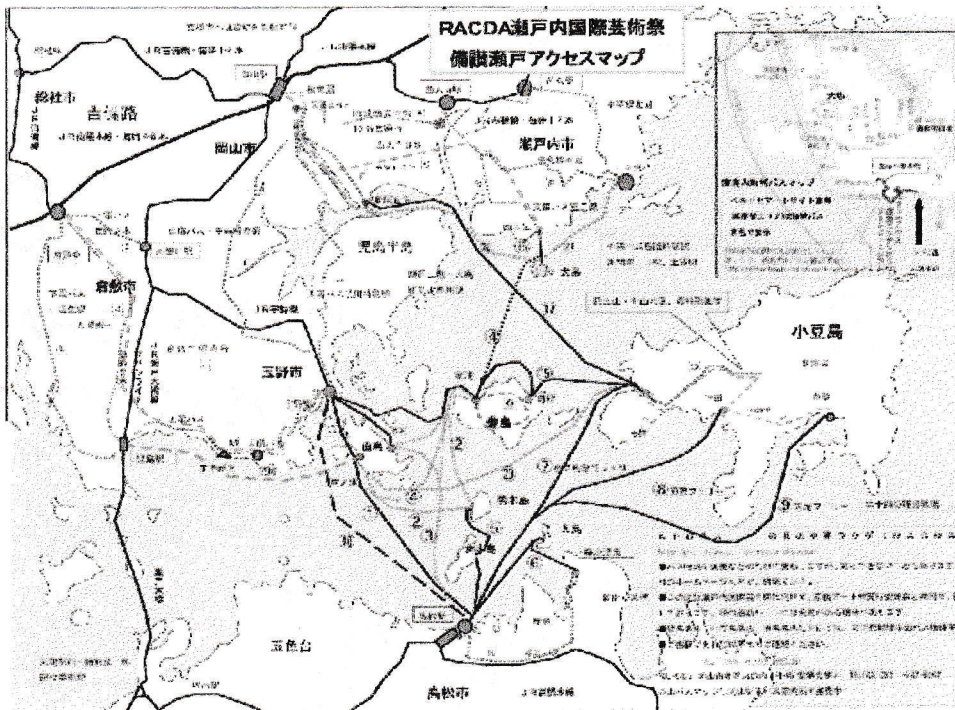
■7つの島のうち唯一岡山県が舞台の島である。しかもここは「岡山市東区」、岡山市唯一の有人島でもある。犬島へ渡るには宝伝港（最寄りバス停：西宝伝）から「あけぼの丸」を利用する。西宝伝まで従来は、岡山駅から西大寺行きバスで終点・西大寺バスセンター、または岡山からJR赤穂線で西大寺へ。そこから宝伝行きバス（西大寺バスセンター始発、西大寺駅を經由）に乗り換えて「西宝伝」下車（終点は東宝伝です、ご注意を）。

■芸術祭期間中は岡山駅1番のりばから西宝伝行き直行バスが1日3便ずつ運行される。『さいバス』と名づけられた車両が主に専属で運行される。この車両は両備バスの前身、西大寺鉄道キハ7をモチーフに製作され、オープンデッキには自転車3台を搭載することができる。西宝伝バス停からは横の小道を歩けばあけぼの丸のりばまではスグ。

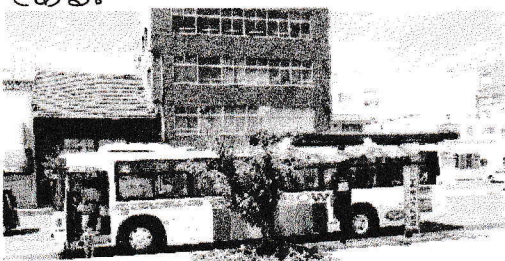


〔豊島・直島〕

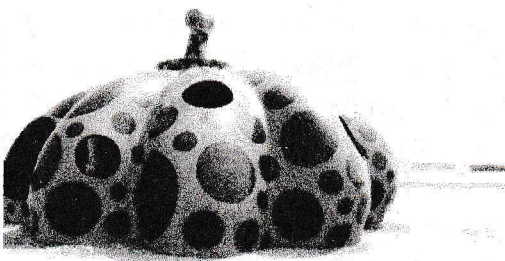
■豊島と直島へは「宇野港」からフェリーまたは旅客船を利用する。主な移動方法は、岡山からJR宇野線（途中の茶屋町で乗換えを要する場合あり）で終点・宇野まで。きっぷ売り場までは駅改札から徒歩10分。バスの場合は岡山駅1番のりばから渋川行き特急バスで「宇野港（直島）」下車。この



バス停は芸術祭開幕に合わせて新設されたバス停で、渋川行き・岡山行き両方とも同じ停留所に停車をする。岡山駅～小豆島（土庄）を降りればきっぷ売り場はスグ目の前である。



■豊島行き・直島（宮浦）行きフェリーはすぐそばの岸壁から乗船だが、直島（本村）行き旅客船は乗船場所が違うので注意していただきたい。なお豊島行きは豊島経由で小豆島（土庄）まで運航している。



〔小豆島〕

■小豆島へは前に書いた豊島経由小豆島行きも利用できるが、新岡山港からも小豆島（土庄）行きが運航している。岡山駅1番のりばから新岡山港行きで

終点「新岡山港」下車。きっぷ売り場のりばも隣接している。岡山駅～小豆島（土庄）は割引チケットを岡山駅バス案内所などで販売している。バス運賃480円+フェリー運賃1000円=合計1480円が、かもめバスキップとして1200円で購入できる。

■この他、小豆島へは日生（ひなせ）港からも小豆島（大部）行きが運航されている。日生港はJR赤穂線・日生駅から国道250号を渡った向かい側にある。

■小豆島内には小豆島オーリーブバスが島一帯に路線バスを運行している。一日乗車券も販売されているので、ぜひバスで島内を巡っていただきたい。



(松田和也)